

令和5年度関東高等学校男子バスケットボール大会
兼 第77回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会
＜Bブロック 1回戦＞

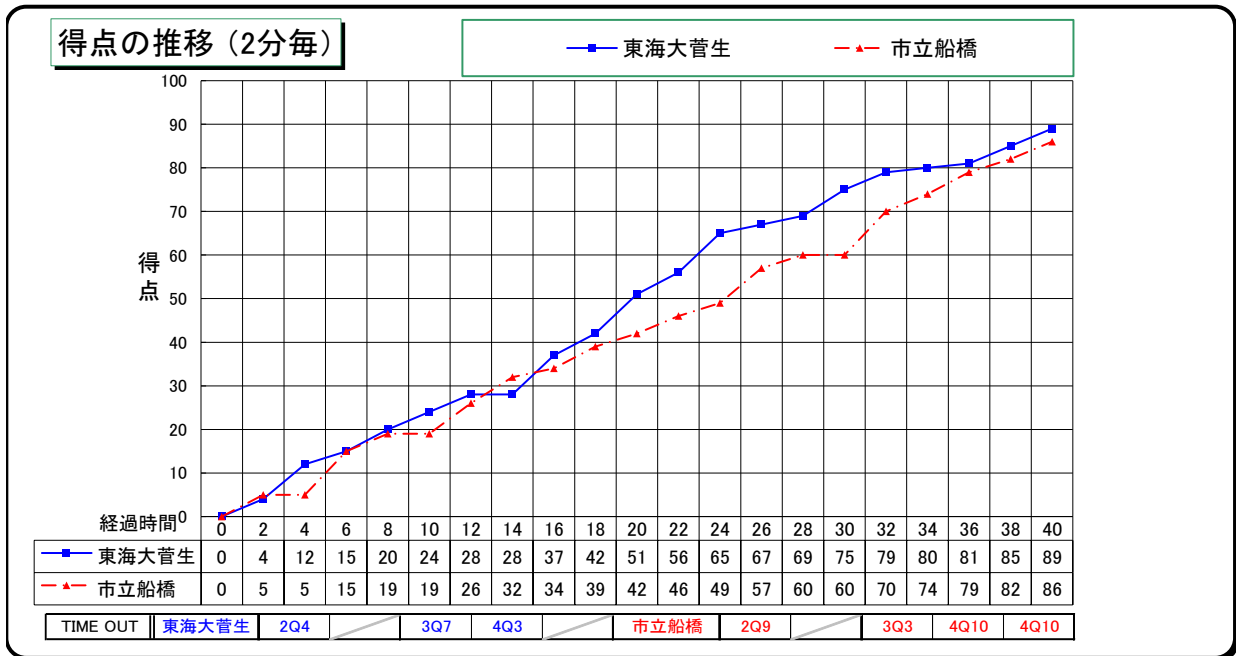
令和5年6月3日(土)	アダストリアみとアリーナ	大会1日目	Aコート	第2試合 10:30～	
<チームA> 東海大菅生 東京		89 { 24 1Q 19 27 2Q 23 24 3Q 18 14 4Q 26 }		<チームB> 市立船橋 千葉	

主審: 川北 聖人 (茨城) 第1副審: 長沼 大平 (山梨) 第2副審: 小宮 颯太 (神奈川)

S	No	選手名	得点	3P		2P		FT		F	リバウンド		アシスト
				成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	
◎	2	小川 颯真	22	2	4	6	13	4	5	1	1	3	8
◎	3	伏見 大翔	6	2	5		3				2	3	2
○	5	山口 瑛人	2			2	2	4			2	1	
◎	7	佐藤 晴野	9	1	2	3	9		2	3	3	9	2
○	9	杉崎 陽人											
	10	末吉 真綺央											
○	11	嶋田 悟	6		1	3	3			2	2	1	1
	13	木下 輝夢											
○	14	曹 寿寛	2			1	4				2	1	1
	15	佐藤 光希											
	17	大木 夏偉											
	18	山崎 優雅											
	20	中島 瑛優											
◎	34	鎌田 殊吏葉	22			10	18	2	4	2	3	5	
◎	46	西辻 慧吾	20	2	7	5	16	4	10	1	3	2	3
		コーチ 三村 龍太郎											
合計			89	7	19	28	68	12	25	9	16	26	18

S	No	選手名	得点	3P		2P		FT		F	リバウンド		アシスト
				成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	
○	0	ストーン ライオン	8	2	6	1	4				2		1
○	2	平井 琉斗	2			1	3			4	1	4	5
◎	3	菊田 瑛輝	23	5	9	4	10			5			2
◎	5	諏訪 航平	21	3	12	5	13	2	2	4	6	6	1
○	7	石渡 隼人					1					1	
○	10	小沼 朋輝								1			
○	11	早乙女 樹生	2			1	2			3	1	1	1
◎	12	白石 楓	4			2	2			4	1		2
◎	24	斉藤 海檉	15	1	5	5	10	2	2	1	3	8	7
	34	吉野 結都					1						
	46	長島 昊大											
	51	有村 駿之介											
○	77	名古曾 唯斗	3	1	1		2			1		2	
◎	81	川上 颯太	8	2	4	1	3			3	2	3	5
○	91	牧 祐獅								1			1
		コーチ 斉藤 智海											
合計			86	14	37	20	51	4	4	27	16	25	25

◎:スターター / ○:出場 / 3P:3点シュート / 2P:2点シュート / FT:フリースロー / F:パーソナルファウル



戦評 記入者: 大塚 康浩

東海大学菅生高校(以下菅生)と市立船橋高校(以下市船)の対戦。

第1Q、両チームともにオールコートマンツーマンでスタート。先制点は市船#3菊田の3P。その後は、菅生の#2小川、#34鎌田のドライブや#46西辻の3Pでリードを10-5に広げる。市船はハードなディフェンスで応戦するもファウルが立て込んでしまいチームファウルが重なり菅生にフリースローを与えてしまう。左右に展開するオフェンスで得点した菅生が24-19で第1Qリードで終了。

第2Qはお互いのトランジションが速い、スピード感のある展開となった。市船は#3菊田の3本連続3Pで28-32と逆転に成功する。しかし、菅生も#34鎌田と#11嶋田の高い打点のオフェンスリバウンドからの得点ですぐさま点数を戻す。菅生が2-3ハーフコートゾーンにすると市船は外からのシュートが多くなり、なかなか得点に繋がらない。菅生はリバウンドからの速攻で流れを掴み51-42とリードを広げ前半を折り返す。

第3Q、開始1分30秒で菅生が速攻から連続得点するとたまたま市船が61-48でタイムアウト。市船は徐々にリズムを取り戻し、#81川上のジャンプシュートや3Pで応戦。開始7分、初めて菅生が67-60でタイムアウトをとる。市船はゾーンディフェンスを崩す事ができず、外のシュートも中々入らない時間が続き75-60で第3Qを終えた。

第4Q、市船は個人ファウルが重なっていた#5諏訪と#0ライオンがコートに戻ってくると、3Pやゴール下のフィジカルで応戦し流れを取り戻す。開始3分で菅生が後半2回目のタイムアウトをとるも#5諏訪、#0ライオンを止めることができず、残り2分ついに1点差まで詰め寄る。気が抜けない一進一退の攻防が続くが、結局菅生は一度も逆転を許さず89-86で勝利を取めた。